



令和4年6月26日

市政記者クラブ 様

東山総合公園
担当 動物園 茶谷・内藤
電話 782-2111

アジアゾウの赤ちゃんが生まれました

東山動植物園で飼育しているアジアゾウ（アヌラ 20歳）が、令和4年6月26日（日）午前0時24分に赤ちゃんを出産しましたのでお知らせします。当園では2013年1月29日の「さくら」誕生以来、9年ぶり2例目となります。赤ちゃんの誕生で東山動植物園のアジアゾウは5頭になりました。

なお、現在は慎重に経過観察を行っており、撮影等を行うことはできませんのでご了承ください。一般公開等の時期等は未定です。また、下記に市長のコメントを記載しております。

記

1 生まれた赤ちゃん

- ・性別：メス
- ・大きさ（推定）：体重130kg、体長130cm、体高110cm
- ・母仔ともに健康状態は良好であり、午前7時43分に授乳を確認した。現在、経過観察を行っている。
- ・国内15例目（うち4例が人工哺乳で死亡）となる。

2 出産したアジアゾウ

- (1) 名前 アヌラ
- (2) 年齢 20歳（2001年10月20日生まれ）
- (3) 来園日等 平成19年7月28日（スリランカ ピンナワラ・ゾウの孤児園より来園）

3 出産までの状況

- ・6月21日（火）の検査で血液中の黄体ホルモン値が低下したため、獣医師及び飼育係員による24時間監視体制を開始した。
- ・6月25日（土）午後10時頃から陣痛等の出産兆候が強く見られはじめた。
- ・6月26日（日）午前0時24分に赤ちゃんを出産した。

※岐阜大学応用生物科学部との共同研究で、5月23日から学生の方々が周産期の行動調査を実施している。

4 東山動植物園のアジアゾウ

名前	性別	年齢	備考
ワルダー	メス	推定50歳（昭和48年来園）	
アヌラ	メス	20歳（2001年10月20日生まれ）	母親ゾウ。コサラとともにスリランカピンナワラ・ゾウの孤児園より来園。
コサラ	オス	18歳（2004年5月11日生まれ）	父親ゾウ。アヌラとともにスリランカピンナワラ・ゾウの孤児園より来園。
さくら	メス	9歳（2013年1月29日生まれ）	アヌラとコサラの第一仔。 東山動植物園で初めて生まれたゾウ。
赤ちゃん	メス	0歳（2022年6月26日生まれ）	

5 市長のコメント

東山動植物園のアジアゾウのアヌラが9年ぶりに2頭目となる赤ちゃんを出産したことについて、大変うれしく、全国に発信できる Very Good NEWS だと思っております。

現在、経過観察中であり、皆さまに観覧していただくことはできませんが、その後の経過が順調であれば一般公開いたします。その際は改めてお知らせいたしますので、かわいい赤ちゃんに会いに、ぜひ東山動植物園へご来園ください。

名古屋市長 河村 たかし

6 その他

当園にて撮影した画像・動画を提供することができますので、ご希望の場合はお申し出ください。

【参考】

◇アジアゾウについて

長鼻目ゾウ科、アジア東南部（インド、スリランカ、インドネシア、タイ等）の森林にメスを中心とした群れで生息する。乱獲や森林破壊等の影響で絶滅が心配され、近年野生での生息数は3万5千～5万頭ほどと推定されている。10歳頃から出産が見られ、繁殖は3～5年に一度行われる。妊娠期間は21～23か月。ワシントン条約附属書I表、IUCNレッドリスト：EN（絶滅危惧IB類）。

◇アジアゾウ国内飼育頭数

32園館で81頭（オス22頭、メス59頭）飼育されている（令和3年末現在）。

なお、令和4年5月5日に日本平動物園のメス1頭が死亡しているため、5月末現在では、80頭（オス22頭、メス58頭）です。

【写真】

■誕生した赤ちゃん（メス）



6月26日（日）午前1時30分撮影



6月26日（日）午前3時撮影（中央）
※左は姉のさくら、右は母親のアヌラ

■出産した母親のアヌラ（左）と父親のコサラ（右）（6月23日（木）撮影）

